

立教 178 年

活動方針

天理教学生担当委員会

— 目 次 —

◆ 教祖 130 年祭 学生おぢばがえり大会 に向けて	1
◆ 立教 178 年 学生担当委員会活動方針	2
◆ 立教 178 年 学生担当委員会行事計画	4
◆ 教区学生担当委員会の活動	5
◆ 直属学生担当委員会の活動	10
◆ 親里における諸行事	14
◆ 刊行物・販売物・その他	18

「教祖 130 年祭 学生おちばがえり大会」に向けて

立教 179 年 3 月 28 日に開催する「教祖 130 年 祭学生おちばがえり大会」には、学生会が掲げる 1 万人という動員目標をご守護いただくためにも、全ての教会から学生がもれなくおちばがえりできるよう全力で取り組みましょう。

～全教会からの参加を目指して～

- ・ 全直属への巡回
- ・ 全教区への巡回と、教区による全支部巡回
- ・ 教区と直属の連携による、すべての学生の把握と丹精



立教 178 年 天理教学生担当委員会

活 動 方 針

基本方針

『おたすけの喜びを学生に！』

～あらきとうりよう・みちのだいとして共に育とう～

学生層育成の御用を頂戴している私たちには、道に引き寄せられたすべての学生がおちばに帰り、教会につながって、信仰の喜びとともにおたすけの喜びを味わえるように導き、別席を運び、ようぼくとしておさづけを取り次ぐまでに丹精していくことが求められています。

そのためには、育成にあたる私たちお互いが、一ようぼくとしておたすけに励み、その勇んだ姿を学生に映し、おたすけの喜びを積極的に伝えていくことが肝心です。

また、縦の伝道を意識して、少年会員を終えた学生が着実に道を歩み、学生を終えた後も道から外れていかないように、教会につなげ、若きあらきとうりよう・みちのだいとしての自覚を促していくことも私たちの大切な役割です。

教祖 130 年祭に向かう三年千日の仕上げの年にふさわしい勇み心と実動をもって、学生と共に育つ努力を重ね、年祭当日は成人した姿をご存命の教祖にご覧いただきましょう。

重点項目

1. 「こどもおちばがえり」参加経験者を道につなげよう
 - ・声かけの一助として『Happist』を活用する
 - ・「春の学生おちばがえり」、高校生の集い「まなびば」をはじめとする各行事への参加を呼び掛ける
2. おさづけを積極的に取り次げるようぼくへと丹精しよう
 - ・別席を運び、おさづけの理を戴いてようぼくになるよう丹精する
 - ・「学生生徒修養会」受講者の増員を目指し、特に 2 回以上の受講を促す
3. 青年会活動・婦人会（女子青年）活動への積極的な参加を呼び掛け、あらきとうりよう・みちのだいとしての自覚を促そう

立教178年 学生担当委員会 行事計画

月	学生担当委員会行事	配 布 資 料
1	おせち学生ひのきしん隊 直前研修会(4) おせち学生ひのきしん隊(4～7) 例会(25) 学生生徒修養会 大学の部 スタッフ事前研修会(27～29)	教区年間活動計画書 「学生層育成者講習会」開催要項・委員派遣願・報告書 「教区・直属HARP講習会」開催要項・開催願・報告書 「まなびば」開催のてびき・実施要項・チラシ 「まなびば」実施会場予定表 「まなびば」実施計画書・実施報告書 「まなびば」教区事前研修会実施計画書・実施報告書
2	※Happist新規購読推進月間 例会(25) まなびば研修会【屋内プログラム】(26～27)	「学生生徒修養会 高校の部」係員依頼 「春の学生おぢばがえり」引率のしおり まなびば研修会【屋外プログラム】要項
3	学生生徒修養会 大学の部 スタッフ直前研修会(1～3) 学生生徒修養会 大学の部(3～9) 例会(25) 立教178年春の学生おぢばがえり(28)	「教区・直属担当者合同懇談会」要項
4	例会(25)	「学生生徒修養会 高校の部」チラシ・要項・受講願書 「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」開催要項 学生名簿の交付について 「学生会総会」開催届・祝辞下附願・報告書
5	教区・直属担当者合同懇談会(25) 例会(25) 学生生徒修養会 高校の部 準備会議(26) まなびば研修会【屋外プログラム】(27～28)	「こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊」募集要項 「道の学生ひのきしんDAY」開催要項
6	例会(25) 学生生徒修養会 高校の部 スタッフ事前研修会(24～25)	
7	例会(25) こどもおぢばがえり学生ひのきしん隊(25～8/5)	「教区・直属担当者合同懇談会」要項
8	学生生徒修養会 高校の部 スタッフ直前研修会(7～9) 学生生徒修養会 高校の部(9～15) 例会(25)	
9	道の学生ひのきしんDAY(21) 例会(25) 教区・直属担当者合同懇談会(25)	「学生担当者大会」ご案内・参加票 「HARP研修会」要項 「学生生徒修養会 大学の部」係員依頼
10	例会(25)	「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」チラシ 「おせち学生ひのきしん隊」募集要項・参加申込書
11	学生担当者大会(25) HARP研修会(27～29)	「学生生徒修養会 大学の部」チラシ・要項・受講願書 「教祖130年祭 学生おぢばがえり大会」動員パック
12	例会(25)	直属学生担当委員会活動報告書 まなびば研修会【屋内プログラム】要項

～教区学生担当委員会の活動～

▼ 「春の学生おぢばがえり」(P.14) への参加 (引率)

春の学生おぢばがえりは、教区学生会において一年の活動のまとめであり、新たな一歩を踏み出す仕切りの行事です。道の仲間や友人を連れ帰るための学生たちの積極的な動きに理解ある後押しを、また担当委員として一人でも多くの学生たちに声を掛けていただきますようお願いします。

▼ 高校生の集い「まなびば」の開催

全国各地で学ぶ、道につながる高校生たちにとって、普段からお道の教えや、信仰の素晴らしさにふれる機会は、決して多いとは言えません。その高校生たちを対象として、同じ地域に住む仲間同士がつながりを深め、お道の教えにふれる場を与えたいとの思いから、各教区主催で開催していただいているのが、高校生の集い「まなびば」です。

本年もガイドブックを作成し、屋内・屋外の参考プログラムを提示いたします。各教区とも内容充実を目指し、開催への諸準備を整えていただくとともに、少年会を終えた教区管内高校生が、信仰的な環境に接する場として、一人でも多くの高校生に声を掛けていただくとともに、管内教会長を始めとする全ての育成者への継続的な啓蒙も合わせてお願いいたします。(委員長必携 P.12 参照)

▼ 高校生の集い「まなびば」教区事前研修会の開催

「まなびば」では、スタッフの行動を通し、参加者一人ひとりの心に信仰を伝えることが大きなポイントになります。そのためには、スタッフが開催の趣旨やプログラムの進め方を充分把握することが必要になりますので、必ず教区事前研修会を実施してください。

本年も必要に応じて教区事前研修会へスタッフの派遣をいたします。なお、屋外参考プログラムの教区事前研修会への派遣については、事務局にご相談ください。その際、「まなびば研修会【屋外プログラム】」(5/27-28)の受講をしている人がいることを前提とします。

▼ 大学生の集い「Work&Talk」

大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生を対象に行う「Work&Talk」は、彼らの自主的な信仰活動を育むことをねらいとする育成行事です。参加者がお道について思うことを存分に語り合い、またにをいがけやひのきしんなどの実践を共にすること

を通して、互いに信仰を深め合うことを目的としています。

現在の学生会は、高校生が中心となって活動している教区も少なくなく、大学生層が参加しにくくなっている教区もあります。そこでこの「Work&Talk」は地域における大学生層の活動がより活発になっていくことも目指します。

一人でも多くの大学生層が参加できるよう、ブロック（複数教区合同）単位での実施を進めています。（立教 178 年は北海道・東北・関東・東海・北陸・中国・四国・九州ブロックで開催予定）

▼ 例会（P. 17）、学生担当者大会（P. 16）、教区・直属担当者合同懇談会（P. 16）への出席

本部で行う例会等へは、担当委員長もしくは代理の方が必ずご出席ください。

▼ 「学生層育成者講習会」の開催

学生層をはじめとする道の後継者の育成は、単にその任をいただいている者たちだけのつとめでは、細やかな丹精はできません。教区の様々な役職にある方々や、管内教会長夫妻をはじめ、大勢の方々にその意義をご理解いただき、連携を深め、育成に携わっていただく必要があります。活動方針に添った育成や「まなびば」動員・啓蒙の上からも、各教区において「学生層育成者講習会」を必ずご開催ください。（委員長必携 P.14 参照）

▼ 学生層育成者の各種本部研修会への参加

- ◇ まなびば研修会【屋内プログラム】（P.15）
- ◇ まなびば研修会【屋外プログラム】（P.15）
- ◇ HARP研修会（P.16）

▼ 「教区HARP講習会」の開催

「HARP」とは、学生担当委員会が平成 2 年に導入した「グループワーク」の一形態です。当委員会では春・夏の学生生徒修養会や教区で開催していただいている高校生の集い「まなびば」のプログラムなどで活用しており、また現在では、教内の各種講習会でも活用されております。この HARP プログラムを広く体験してもらうべく、親里での研修会への参加、また各教区における講習会の開催を呼びかけています。

本講習会は、各教区が実施を希望され、講義時間や受講者数など一定の条件を満たす場合に、本部より委員 1 名とスタッフ若干名が出向して開催します。

内容は、HARP 経験のない方や浅い方を対象に HARP を実体験していただくものな

教区学生担当委員会の活動

ど、開催教区のニーズに合わせ、担当の方と相談の上で作成します。

▼ 学生会活動への支援

天理教学生会は、教区学生会、直属学生会が同じ組織のもとに活動することとなりました。会則第三条「本会は天理教内学生が一手一つに結び合い、自主的な活動により、相互の信仰と学識の向上と親睦をはかり、有為なる用木となる事を目的とする。」を主旨として、また下記の3項目を成人目標として定め、活動の指針としています。

◇ 道の学生成人目標

- 一、生かされていることに感謝しよう
- 一、お道の素晴らしさを伝えよう
- 一、進んで教会につながろう

◇ 本部開催行事への参加促進と、その取りまとめ

- ・「こどもおちばがえり学生ひのきしん隊」(P.15)
- ・「おせち学生ひのきしん隊」(P.14)
- ・「学生会委員総会」
- ・「教区学生リーダーの集い」

◇ 教区学生会活動への支援

- ・「教区学生会総会」
- ・「道の学生ひのきしんDAY」(立教177年9月21日実施予定)
- ・常時活動(清掃・慰問・献血などのひのきしん、徒歩団参、別席団参、おてふり・鳴物練習、教理勉強、教会・会員まわりなど)

◇ 学生会リーダーの養成

- ・教区、ブロックでの「リーダー研修会」
- 学生会のリーダーは年毎に交代することが常なので、上記の研修以外にもその育成には常時心をお配りくださいますようお願いいたします。

▼ 『Happist』の活用 (P.18)

学生層育成のための月刊誌『Happist』は、「明日につながる学生マガジン」として、創刊以来、次のようなねらいをもって編集しています。

- ①お道の教えと情報を正確に伝えるとともに、生き方や考え方を示唆する
- ②教理を求める手掛かりとする
- ③別席を運ぶよう導くための手だてとする
- ④共通の話題を提供し、教内高校生、大学生、専門学校生の連帯感をつくり出す

⑤教会と高校生、大学生、専門学校生をつなぐメディアとして活用する

また、『Happist』は、学生生徒修養会やまなびばをはじめとする親里、教区、直属などでの育成行事への参加呼びかけの上でも重要な役割を担っています。

以上のようなねらいをもつ『Happist』が、手渡しなどを通して確実に学生の手元に届くよう、教区管内への積極的な働き掛けをお願いいたします。

※ 『Happist』新規購読推進月間

例年、2月を『Happist』の新しい読者開拓の強調月として位置づけ、高校生、大学生、専門学校生はもちろんのこと、中学3年生に『Happist』の購読を強力に呼び掛けていただくようお願いしています。その際、教会長・布教所長子弟、及び教会・布教所住込人子弟の中学3年生に対して、『Happist』2月号を無料配布していただくよう、名簿を添えて全教区へお届けしますので、以後の購読を勧めていただきますよう、よろしくお願いします。

※ 個人購読（学生宅へ直接発送）受付中

下宿などで親元を離れて生活している大学生、専門学校生や、所属教会が離れていて『Happist』がなかなか手元に届きにくい高校生など、学生層全般を対象に個人購読を受け付けています。学生担当委員会より直接本人宛に『Happist』を発送しますので、手渡しが困難な学生がおられましたら、ぜひご活用ください。また、「TSA web site」からも申込可能です。詳細は、学生担当委員会事務局までお気軽にお尋ねください。

▼ 『別席のすすめ』の活用 (P.18)

17歳になると別席を運ぶことができます。『別席のすすめ』を活用し、教区・支管内の学生生徒に別席を運ぶことを積極的に勧めていただきますようお願いします。

▼ 教区管内一れつ会扶育生への丹精

各教区では、教区長が「一れつ会教区委員長」として、また、教区主事が「一れつ会教区委員」として委嘱されており、毎年4月末から5月半ばまでの間に、新扶育生（高校生）とその保護者を対象に「扶育決定懇談会」が催されます。

ついては、この扶育決定懇談会に教区学生担当委員、また学生会員が同席し、「学生生徒修養会」や高校生の集い「まなびば」をはじめとする、学生担当委員会及び学生会の諸活動の紹介と参加勧奨を行ってください。同時にその後も引き続いて、行事参

教区学生担当委員会の活動

加などについて声掛けを積極的にしていただくようお願いします。なお、扶養生名簿が一れつ会から教区長宛に4月頃配布されますので、ご活用ください。

上記については、一れつ会教区委員の方と連絡を取り合って、宜しくお取り計らいください。

▼ 婦人会、青年会、少年会との連携

学生生徒たちが将来、教会につながっていくために、継続して育成活動を展開していくことが望めます。特に婦人会、青年会、少年会との連携の上に、教区として一貫した育成体制の確立にご尽力いただくようお願いします。

少年会で育った中学生たちに、高校生の集い「まなびば」や「学生生徒修養会」「春の学生おぢばがえり」の案内を行い、少年会とのつながりをすることが大切となります。

そして、学生生徒の間に青年会員、女子青年としての自覚を持たせ、行事・活動への参加をすすめ、高校や大学卒業後、お道に、教会につながるよう促します。

各会との情報交換や連携を密にして、着実な育成活動の取り組みをお願いします。

▼ 学生名簿の整理と活用

学生層を育成する上で、教会単位での学生名簿作成が重要です。毎年、春の学生おぢばがえりで直属へ配布する参加票を基に、名簿を整理し学生層の丹精にご活用ください。また、学生担当委員会事務局にて名簿作成用の学生カード（B6判）も無料でお分けしていますので、必要な場合は事前にご連絡の上、取りにお越しく下さい。

なお、希望される教区へ、各行事参加者名簿もお渡ししております。学生担当委員会事務局にご相談ください。

※名簿の管理については、担当者を決めて、名簿の流失、紛失などのないように細心の注意を払ってください。

～直属学生担当委員会の活動～

▼ 「学生生徒修養会」(P. 14, 15) を通しての丹精

次代を担う道の後継者育成の上から、学生生徒修養会〈大学の部・3月、高校の部・8月〉への参加を促し、さらにはその期間の前後を利用し、教会へとつながる育成の場、顔をつなぐ場を設け、世話取り、丹精をお願いします。教会長子弟、初参加者の増員と共に、回を重ねての受講にも力を入れていただきたく、チラシやDVDなどを活用の上、お声掛けいただきますようお願いいたします。

それぞれの教会につながる学生たちに対して、学生生徒修養会を一つの軸とした育成をお進めください。

▼ 「春の学生おちばがえり」(P. 14) への参加（引率）、

呼びかけ、直属アワーの開催

「春の学生おちばがえり」は各直属単位の団体参加、教区参加、当日の個人参加が可能です。担当者として一人でも多くの学生生徒に声を掛けていただき、おちばに帰って来てもらえるようご丹精をお願いします。また、道の仲間や友人を連れ帰るための学生の積極的な動きへの後押しを併せてお願いします。さらに期間中、同じ直属教会につながる学生生徒が一堂に会する「直属アワー」では、直属教会長のお話や、親睦行事、会食などを行い、担当者が顔をつなぎ、学生同士の交流が深められますようお世話取りをお願いします。

▼ 学生ひのきしん隊への参加促進

学生会及び学生担当委員会では、学生ひのきしん隊を組織して、学生たちがおちばに伏せ込む機会としています。学生ひのきしん隊では、教区、直属からの申し込みが可能です。育成活動の一環として、学生ひのきしん隊への参加呼びかけをお願いします。

◇ おせち学生ひのきしん隊 (P.14)

◇ こどもおちばがえり学生ひのきしん隊 (P.15)

▼ 道の学生ひのきしん DAY への参加促進 (立教 177 年 9 月 21 日実施予定)

教区学生会が中心となる行事ですが、道の学生全体のひのきしんデーとして、直属からも各地域のひのきしん会場へ参加の呼びかけをお願いします。

▼ 直属学生リーダー講習会への参加促進

「直属学生リーダー講習会」は、直属学生会活動の活性化を目指して、そのリーダーがおちばに集い、教会につながる事の大切さや、直属での学生会活動の意義を認識する機会として、学生担当委員会のサポートのもと、学生の代表である天理教学生会直属部が中心となって、現在は年に2回開催しています。各直属からこの講習会へ参加の呼びかけをお願いします。

▼ 例会（P.17）、学生担当者大会（P.16）、教区・直属担当者合同懇談会（P.16）への出席

本部で行う例会等へは、担当委員長もしくは代理の方が必ずご出席ください。

▼ 「学生層育成者講習会」の開催

学生層をはじめとする道の後継者の育成は、単にその任をいただいている者たちだけのつとめでは、細やかな丹精はできません。教会長夫妻をはじめ、広く教内の方々にその意義をご理解いただき、連携を深め、育成に携わっていただく必要があります。活動方針に添った育成を徹底する上からも、各直属において「学生層育成者講習会」を必ずご開催ください。（委員長必携 P.15 参照）

▼ 学生層育成者の各種本部研修会への受講

◇ HARP 研修会（P.16）

▼ 「直属HARP講習会」の開催

「HARP」とは、学生担当委員会が平成2年に導入した「グループワーク」の一形態です。当委員会では春・夏の学生生徒修養会や教区で開催していただいている高校生の集い「まなびば」のプログラムなどで活用しており、また現在では、教内の各種講習会でも活用されております。このHARPプログラムを広く体験してもらうべく、親里での研修会への参加、また各教区における講習会の開催を呼びかけています。

本講習会は、各直属が実施を希望され、講義時間や受講者数など一定の条件を満たす場合に、本部より委員1名とスタッフ若干名が出向して開催します。

内容は、HARP経験のない方や浅い方を対象にHARPを実体験していただくものなど、開催直属のニーズに合わせ、担当の方と相談の上で作成します。

▼ 『Happist』の活用（P.18）

学生層育成のための月刊誌『Happist』は、「明日につながる学生マガジン」として、創刊以来、次のようなねらいをもって編集しています。

- ①お道の教えと情報を正確に伝えるとともに、生き方や考え方を示唆する
- ②教理を求める手掛かりとする
- ③別席を運ぶよう導くための手だてとする
- ④共通の話題を提供し、教内高校生、大学生、専門学校生の連帯感をつくり出す
- ⑤教会と高校生、大学生、専門学校生をつなぐメディアとして活用する

また、『Happist』は、学生生徒修養会やまなびばをはじめとする親里、教区、直属などでの育成行事への参加呼びかけの上でも重要な役割を担っています。

以上のようなねらいをもつ『Happist』を大いに活用し、手渡しを通した学生への積極的な働き掛けをお願いいたします。

※ 『Happist』新規購読推進月間

例年、2月を『Happist』の新しい読者開拓の強調月として位置づけ、高校生、大学生、専門学校生はもちろんのこと、中学3年生に『Happist』の購読を強力に呼び掛けていただくようお願いしています。その際、教会長・布教所長子弟、及び教会・布教所住込人子弟の中学3年生に対して、『Happist』2月号を無料配布していただくよう、名簿を添えて全教区へお届けします。直属へも名簿をお渡ししますので、以後の購読を勧めていただきますよう、よろしくお願いします。

※ 個人購読（学生宅へ直接発送）受付中

下宿などで親元を離れて生活している大学生、専門学校生や、所属教会が離れていて『Happist』がなかなか手元に届きにくい高校生など、学生層全般を対象に個人購読を受け付けています。学生担当委員会より直接本人宛に『Happist』を発送しますので、手渡しが困難な学生がおられましたら、ぜひご活用ください。また、「TSA web site」からも申込可能です。詳細は、学生担当委員会事務局までお気軽にお尋ねください。

▼ 『別席のすすめ』の活用 (P.18)

17歳になると別席を運ぶことができます。『別席のすすめ』を活用し、教会長・布教所長子女はもとより、ようぼく・信者子女、さらには未信の学生生徒に至るまで、別席を運ぶことを積極的に勧めていただきますようお願いします。

▼ 直属教会での幅広い育成活動の展開

直属で開催される育成行事はもちろん、おちばで開催される学生生徒修養会などへの参加呼びかけや世話取り、『Happist』の手渡しを含め、その後の丹精など、直接学

直属学生担当委員会の活動

生たちに接しながら活動を進めていただきますようお願いします。また、親里管内で学ぶ学生たちに対しても詰所での定期的な会合、定期刊行物の配布など担当者がより身近に接して、教会と離れて暮らす学生たちと教会との距離を縮めることができるよう、きめ細やかな丹精をお願いします。

▼ 婦人会、青年会、少年会との連携

学生生徒たちが将来、教会につながっていくために、継続して育成活動を展開していくことが望まれます。特に婦人会、青年会、少年会との連携の上に、直属として一貫した育成体制の確立にご尽力いただくようお願いします。

少年会で育った中学生たちに、高校生の集い「まなびば」や「学生生徒修養会」「春の学生おちばがえり」の案内を行い、少年会とのつながぎをすることが大切となります。

そして、学生生徒の間に青年会員、女子青年としての自覚を持たせ、行事・活動への参加をすすめ、高校や大学卒業後、お道に、教会につながるよう促します。

各会との情報交換や連携を密にして、着実な育成活動の取り組みをお願いします。

▼ 教区活動への参加促進

学生生徒は、地域でのつながりも強く、直属からの丹精はなかなか行き届きにくいものです。さらにこの年代は、友達の影響力が、親や他の誰よりも大きいのが特色です。

地域での学生会活動に参加する意義は大変大きなものがありますので、次の教区主催の各行事への参加にも声がけをお願いします。

◇高校生の集い「まなびば」(P.5)

◇大学生の集い「ワーク&トーク」(P.5)

◇道の学生ひのきしんDAY (立教178年9月21日実施予定)

◇教区学生会総会(随時)

▼ 学生名簿の整理と活用

学生層を育成する上で、教会単位での学生名簿作成が重要です。毎年、春の学生おちばがえりで直属へ配布する参加票を基に、名簿を整理し学生層の丹精にご活用ください。また、学生担当委員会事務局にて名簿作成用の学生カード(B6判)も無料でお分けしていますので、必要な場合は事前にご連絡の上、取りにお越してください。

なお、希望される直属へ「直属別天理大学生名簿」や各行事参加者名簿もお渡ししております。学生担当委員会事務局にご相談ください。

※名簿の管理については、担当者を決めて、名簿の流失、紛失などのないように細心の注意を払ってください。

～親里における諸行事～

《学生対象》

▼ おせち学生ひのきしん隊

平成 27 年 1 月 4 日(日)～7 日(水)

新春、おちばでの恒例行事「お節会」に際して、「学生ひのきしん隊」を結成し、おせち会場内の整理・誘導、接待、洗い方などのひのきしんにあたらせていただき、笑顔と親切に溢れる態度が帰参された方々に喜ばれ、お節会のひのきしん者として大きな役割を担っています。

お節会のひのきしんの他に、大学生が中心となつての親睦行事や、グループ別にその日のひのきしんについて、また普段それぞれが思うことを語り合い、ひのきしんや信仰について考える時間も持ちます。3 泊 4 日という短い期間ですが、同じ道を歩む仲間存在を感じ、感謝の気持ちを行動に表すことを学ぶ貴重な合宿となります。

参加対象は高校生・大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生です。

▼ 学生生徒修養会 大学の部

平成 27 年 3 月 3 日(火)～9 日(月)

おちばにお引き寄せいただいた学生たちが、仲間と多くの時間を共有しながら、教理の研鑽・布教実践を通して信仰の喜びを味わい、自ら世界たすけのようぼくとしての使命感を高めることを目指します。

受講資格は、平成 27 年 1 月 8 日現在、天理大学や天理医療大学を含む、全国各地の大学・短期大学・大学院・専門学校・高等専門学校(4 年生以上)に在学し、全期間を通して受講できる者です。

プログラムの内容は、天理教教義に関する講義、グループタイム、修練、ひのきしん、にをいがけなどで、特ににをいがけに関しては、学生が自発的に取り組めるような様々な工夫がなされています。更に、回を重ねた受講者は月次祭まなびをつとめます。

研修を積んだスタッフが受講生一人ひとりに心を配り、信仰の素晴らしさを感じてもらえるよう、「布教の心」でつとめます。

▼ 立教 178 年春の学生おちばがえり

平成 27 年 3 月 28 日(土)

道につながる全ての学生がおちばに帰り集い、真柱様からいただくお言葉を指針として今後の成人を誓い合います。

直属アワーでは、直属教会長のお話や、親睦行事、会食などが行われ、同じ直属につながる学生生徒たちが親交を深めます。別席を運ぶこともできます。

タづとめ後の後夜祭「春まつり」では、学生生徒による模擬店やステージが行われ、参加した学生全体の交流の場となります。

▼ こどもおちばがえり学生ひのきしん隊

平成 27 年 7 月 25 日（土）～8 月 5 日（水）

＜前期隊＞7 月 25 日～7 月 31 日 ＜後期隊＞7 月 30 日～8 月 5 日

真夏のおちばで開催される「こどもおちばがえり」に学生会では、ちばへの伏せ込みを目的に「学生ひのきしん隊」を結成します。内容は、「わかぎおちばひのきしん」に参加する中学生のカウンセラー、廻廊ひのきしん、おやさとパレード出演、お茶接待などのひのきしんです。帰ってきた子どもたちに喜んでもらおうと精一杯ひのきしんに汗を流すことによって、ひのきしんの喜びを肌で感じることができます。また中学生の世話取りを通して、自らも一歩成人させていただけます。合宿生活では、お互いの親睦を図り、深い友情を築くことができます。

参加対象は高校生・大学生・短期大学生・大学院生・専門学校生です。

▼ 学生生徒修養会 高校の部

平成 27 年 8 月 9 日（日）～15 日（土）

日頃おちばがえりをする機会の少ない高校生が、夏休みを利用して全国各地から親里に集い、一週間の合宿生活を通して教祖の親心を感じ、将来の道のようなぼくとしての自覚を高め、信仰の喜びに目覚める場となるよう努めています。

プログラムの内容は、教義に関するレクチャー、おてふり、鳴物練習、ひのきしん、神名流し（3 年生）、回生別行事、寮別行事、レクリエーションなどで、受講生がお道の信仰に目覚め、その後の歩みの上に役立つように工夫しています。

研修を積んだスタッフが受講生一人ひとりに心を配り、信仰の喜びを感じてもらえるよう「布教の心」でつとめます。

なお、親里管内高校では、天理高等学校 I 部自宅通学生が受講する事ができます。

《担当者対象》

▼ まなびば研修会【屋内プログラム】

平成 27 年 2 月 26 日（木）～27 日（金）

平成 27 年度に開催する、高校生の集い「まなびば」の屋内参考プログラムを、プログラム体験を交えながら紹介し、参考プログラムを実施するための研修を行います。

▼ まなびば研修会【屋外プログラム】

平成 27 年 5 月 27 日（水）～28 日（木）

平成 27 年度に開催する、高校生の集い「まなびば」の屋外参考プログラムを紹介し、屋外参考プログラムを用いた「まなびば」を開催予定の教区は、必ずご受講くださいますようお願いいたします。

▼ 教区・直属担当者合同懇談会

平成 27 年 5 月 25 日(月)

平成 27 年 9 月 25 日(金)

「教祖 130 年祭学生おぢばがえり大会」に向けて、教区と直属の連携を深め、また、さまざまな活動についても幅広い意見交換をします。

▼ 学生担当者大会

平成 27 年 11 月 25 日(水)

この大会は、学生担当委員会の総会とも位置づけられるもので、教区・直属の学生担当者が一堂に会し、学生層育成へのより真剣な取り組みと、積極的な活動推進を誓い合う場として開催されます。また例年、学生担当委員会の次年度の活動方針を発表します。

▼ 「HARP 研修会」

立教 178 年 11 月 27 日(金)～29 日(日)

HARP 研修会では、段階に応じた 3 つのコースを設けています。

◇ 〈体験コース〉

本コースは HARP の経験のない方、また経験の浅い方を対象とした HARP の入門編で、実際に HARP を体験していただくことを目的とします。今後、HARP を活用される方に、その第一歩としてプログラムを体験していただき、HARP の成り立ちや必要性、その効果などを体験的に理解していただきます。

◇ 〈トレーナーコース〉

「HARP トレーナー」とは、HARP を行うグループ内で、メンバー相互の会話や人間関係をサポート、援助する役割の人です。

本コースでは、教区や直属の学生層育成の現場で HARP トレーナーとして務めていただく方を養成するために、グループメンバーの心の動きやトレーナーの関わり方、またプログラムの持つねらいや進め方などの研修を行います。

◇ 〈プログラミングコース〉

HARP をより有効に活用するためのプログラミングについて学ぶことを目的とします。本コースでは、エクササイズやウォーミングアップなどが果たす意味合いを理解していただき、更にプログラムを作成することを通して、プログラムの組み方を学んでいただきます。

「HARP トレーナーコース」「HARP プログラミングコース」の受講資格は本研修会の体験コース、または、教区・直属の HARP 講習会の修了者としてします。

▼ 例会

毎月 25 日午後 4 時より

毎月 25 日に、各教区・直属の学生担当委員長にお集まりいただき、主に各行事・活動の案内と報告を行うとともに、随時、学生層育成にまつわる様々な話題を提供いたします。

諸行事の要項等、資料もお渡ししますので、委員長各位には必ず出席していただき、万が一都合がつかない場合は、代理の方の出席をお願いします。

▼ 学生担当者勉強会

随時開催

様々な専門分野の講師を招き、学生層育成に役立つ知識・手法を学び、今後の活動の充実を目指します。

～刊行物・販売物・その他～

☆＝道友社販売所でも販売しています。

▼ 定期刊行物

◇ 『学生担当者報』

B5 判（月 1 回発行）

学生担当者に対し、学生層育成の行事・活動に関する情報を提供することを目的に、毎月発行しています。教区・直属学生担当委員会には希望される部数を配布しています。また、TSA website (<http://tsa.tenrikyo.or.jp>) でもご覧いただけます。

◇ 『Happist』

100 円 A5 判（月 1 回発行）☆

購読の申し込みは、各教区の学生担当委員会までお願いします。又、学生担当委員会事務局・道友社販売所でも直接販売しています。

親元や所属教会から離れて生活している学生には個人購読（学生に直接発送）も受け付けています。詳細は学生担当委員会事務局にお問い合わせください。

▼ 出版物

◇ 『別席のすすめ』

5 円 B5 判三つ折（両面カラー）

◇ 『T S A Perfect Guide』

5 円 A5 判 観音折り（両面カラー）

学生担当委員会及び学生会の年間行事を写真入りでわかりやすく紹介しています。各行事へのお声掛けの上に、また、教会長の方々への啓蒙の上にお役立てください。

◇ 『HARP－確かな理解とその使い方－』

500 円 A5 判 274 頁

本書では HARP の概要を述べた上で、HARP を取り巻く様々な疑問の声に答える形で、その正しい理解が得られるように解説します。

また、HARP プログラムを実施するに当たっての考え方や注意点、若者への接し方についても触れるとともに、具体的なエクササイズも多数掲載するなど、学生層育成に携わる方へのお薦めの一冊となっています。

◇ はっぴすと単行本『ハートフルすけっちー私の信仰体験－』

150 円 A6 判 192 頁 ☆

学生生徒修養会における感話大会録をまとめたもので、身上のこと、家族のこと、友のこと、信仰的な生き方、考え方などを学修を受講した学生たちが、感じたままの言葉で綴る信仰体験集です。学生だけではなく、育成に携わる方々にもぜひご一読いただきたい一冊です。

◇ 『信心事始』深谷太清 著 300 円 A5 判 136 頁 ☆

『Happist』2008 年 6 月号から 2009 年 5 月号の教理コーナーにて連載した「信心事始」の単行本です。未信仰の家庭で育った学生会活動に参加している「歩くん」が教会長子女の「香ちゃん」と教会をたずね、そこで教理や信仰のあり方などを学ぶという物語です。会話形式の文章で、信仰に興味を持ち始めた人向けのわかりやすい内容になっています。

◇ 『そーだ先生の教理セミナー』早田一郎 著 500 円 A5 判 122 頁

お道の教えを、わかりやすく伝えるための副読本です。お道を信仰する上で欠かせない教理、教語について、3 人の登場人物の Q & A 形式で説明しています。

教理勉強の際のテキストとしてご利用ください。

ビデオ・DVD

◇ 「学生担当委員会行事紹介」 500 円 20 分 ☆

「春の学生おちばがえり」、「高校生の集い まなびば」、「学生生徒修養会高校の部」、「学生生徒修養会大学の部」の内容を紹介したもので、道友社が作成しました。これらの育成活動の動員や勧誘にご活用ください。ビデオ版、DVD 版があります。

◇ 「平成 24 年度学生担当者大会上映 DVD」 貸し出し 15 分

平成 24 年度学生担当者大会で上映したものです。内容は、各教区で開催している、高校生の集い「まなびば」をとりあげ、千葉・山口・東京教区の取り組みを紹介しています。

◇ 「平成 23 年度学生担当者大会上映 DVD」 貸し出し 18 分

平成 23 年度学生担当者大会で上映したものです。内容は、学生担当委員会の基本方針「学生に信仰の喜びを伝え、立派なようぼくに育つよう丹精しよう」を基に、学生への丹精をテーマとして、学生生徒修養会を受講した 2 名の学生をピックアップし、その二人が別席を運び、ようぼくへと成人していく姿を追いかけたものです。

◇ 「学生生徒修養会 大学の部 DVD」 貸し出し 10 分

立教 177 年 3 月の例会において上映した学生生徒修養会大学の部の報告です。

◇ 「学生生徒修養会 高校の部 DVD」 貸し出し 6 分

立教 177 年 8 月の例会において上映した学生生徒修養会高校の部の報告です。

◇ 「学生生徒修養会 高校の部 PR DVD」 貸し出し 3分

「学生生徒修養会 高校の部」動員の取り組みとして学生向けに制作したもので、立教177年春の学生おぢばがえりの直属アワーにおいて流していただいたものです。様々な場面で学生へのPRにお使いください。

▼ チラシ・募集要項

◇ 「学生生徒修養会」高校の部／大学の部 勧誘チラシ

1枚5円 B5判（片面カラー）裏面募集要項

学生生徒修養会への勧誘、動員にお役立てください。

【※頒布開始日…高校の部勧誘チラシ：4月25日 大学の部勧誘チラシ：11月25日】

◇ 「春の学生おぢばがえり」勧誘チラシ

1枚5円 B5判（片面カラー）裏面無地

「立教178年春の学生おぢばがえり」に向けてのチラシを1枚5円で頒布いたしております。勧誘用に、広報用にご活用ください。

【※頒布開始日…10月25日】

販売物

◇ CD『TSA SONG BOOK』

1500 円 ☆

「春の学生おぢばがえり」のテーマソング『灯～akari～』をはじめ、学生層の歌を収録したCDを販売しています。

収録曲は全8曲（カラオケ全曲収録）

①灯～akari～ ②Let's go back together ③僕らは青い風の中 ④風にのせて
⑤出発—たびだち— ⑥若き力を ⑦これが僕らの学修さ ⑧航海

※ ②～⑤はリメイクバージョン

◇ CD『希望の花』

100 円

「春の学生おぢばがえり大会」のテーマソング『希望の花』を収録したCDの販売を開始します。Tsa websiteにてダウンロードも可能です。

テーマソング普及の為に活用ください。

◇ Happist タオル（全5色）

300 円

デザインは5パターンあり、頒価は300円です。新デザインは3パターン（黒・青・黄）、旧デザインは2パターン（紫、ピンク）あり、『Happist』のロゴを基調にし、首に掛けやすいマフラータイプにしています。育成行事の記念品等でご利用いただき、『Happist』のPRの上にご活用ください。

◇ Happist 封筒（第三種用・贈呈用）

第三種用 1 枚 5 円・贈呈用 1 枚 10 円

『Happist』を送付する際にちょうどよいサイズの封筒を二種類用意しています。定形外郵便を送る時に安く郵送できる第三種用封筒（1枚5円）、淡いピンクを基調とし、右上にリボンをあしらったデザインの贈呈用封筒（1枚10円）をケースに応じて使い分け、活用ください。

◇ Happist ファイル

350 円 A5 判

『Happist』1年分（12冊）をきれいに綴じることができます。保存や収納にお役立てください。

その他

◇ Happist フォトギャラリー

「こどもおちばがえり学生ひのきしん隊」「学生生徒修養会 高校の部／大学の部」「おせち学生ひのきしん隊」「春の学生おちばがえり」など諸行事の写真を、インターネットにて販売、学生担当委員会事務局前廊下にて一部展示しています。

L判 40 円、2 L判 100 円でお頒けいたします（別途送料が必要）ので、ご希望の方は下記の URL にアクセスし、イベント ID とパスワードを入力の上、閲覧・購入してください。イベント ID とパスワードの内容については、事務局までお問い合わせください。

また、インターネットでの購入が困難な方は、事務局の窓口にて対応いたしますのでお申し出ください。

〔URL〕 <http://11kao.jp/>

◇ TSA web site

<http://tsa.tenrikyo.or.jp>

これまでのホームページを「TSA web site」として、立教 175 年 6 月 1 日にリニューアルしました。学生や学生層育成に感心のある方に必要な情報をタイムリーにお届けできるよう頻繁に更新をする予定です。

web site は学生会のページと学生担当委員会のページに分かれています。学生会のページでは、おちばで開催の行事案内や報告などを紹介します。また、「Happist」個人購読の申込も可能です。学生担当委員会のページでは、各種提出書類や一部の例会資料、学生担当者報もダウンロードできるようになっています。是非とも web site をご活用ください。



発行日 立教177年11月25日

天理教学生担当委員会

〒632-0035 天理市守目堂町213-4

おやさとかた真南棟3階

TEL 0743-63-2489 (直通)

0743-63-1511 (代表) 内線5817

FAX 0743-62-5780

WEB <http://tsa.tenrikyo.or.jp>

E-mail tsa@tenrikyo.jp

1200部